

ご用命・お問い合わせ先
アペックス産業株式会社
電話 03-3455-6474
FAX 03-3455-6558

＜詳しいご案内は当社のホームページをご覧ください＞
URL <http://www.apex-sangyo.jp>

●切り取って保存してご利用ください。

『APEX CLUB』

発行 2021年11月4日(通算52号)
発行所 アペックス産業(株)「APEX CLUB」編集委員会
〒105-0014 東京都港区芝2-23-4
電話 03-3455-6474 FAX 03-3455-6558
ホームページ <http://www.apex-sangyo.jp>
発行人 元木 貢
(編集委員) 彦根良雄、伊東由里絵、
杉山 敏、篠原綾乃
(事務局) 齊藤久美

ギャラリー

風を紡ぐ (女流画家協会展)



黒沢 裕子(くろさわ ひろこ)
1956年 東京生まれ
1979年 武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業
東京都で図工、美術専科教諭や絵画教室講師に就く
1995年 桜井浜江(女流画家協会設立者・独立美術協会会員)に師事する
1997年 同年から毎年、女流画家協会展・独立美術協会展・高島屋「美の予感」・安田火災美術大賞展他、東京を中心としたグループ展に出展多数
2014年 女流画家協会委員
2016年 独立美術協会準会員

クビアカツヤカミキリ



クビアカツヤカミキリのオス成虫
埼玉県環境科学国際センター
ホームページより

触角は黒色で、オスの触角は体長より長く、メスの触角は体長と同等か、やや短い。



サクラの根元に散乱したフラス

木の内部に寄生する樹木害虫で、特定外来生物に指定されており、飼育や生きたまま持ち運ぶことが禁止されている昆虫です。成虫の体長は、二・五センチから四センチ程度。光沢のある黒色を主として、首部が赤いのが特徴です。

幼虫が主にサクラ、ウメ、モモ、カキ等の生木に食入・加害することで樹木を衰弱させ、進行すれば、枯死、倒木や枝落ち等の被害が発生する恐れがあります。

●生態 幼虫は生木の内部を摂食する際にフラス(木くず等)を排出し、樹木内で二〜三年かけて成長、サナギとなります。六月中旬〜八月上旬に成虫となって樹木の外に出ます。メスの成虫は、交尾後、幹や主枝の樹皮の割れ目に産卵します。(八〜九日後に孵化)

●クビアカツヤカミキリをみついたら クビアカツヤカミキリによる被害を防ぐためには、早期の対応が重要となります。成虫やフラスを見かけた場合は、各地域の環境課に連絡し、成虫はできる限りその場で踏み潰す等してください。

また、カミキリムシ類を対象とした農業(市販の専用エアゾール剤等)を使用し、防除が可能です。が、専門業者に相談されることをお勧めします。

※フラス…幼虫のフンと木くずが混ざった、ひき肉のような状態のもの。

おじやま虫



CDトラップ

採取した成虫は、都の研究センターで同定され、種類に応じてデングウイルス等の遺伝子検査を行っています。このサーベイランスにおいて、これまで捕集した成虫からは感染症病原体の遺伝子が検出されませんでした。

また、今年はおリンピック、パラリンピック開催期間中、競技場周辺の公園でも成虫採取を行いました。

「普段からの運動不足に重なる運動不足(通勤が運動不足を補っているとは気がつきませんでした)」
そして、気がつけば太ってしまいました。

「また、仕事と私生活との切り替えが難しく、昼の休憩を取っていると、はずっと自宅にもついている」と、集中力が散漫になってくること。「仕事以外でも、人とのちよっとした関わりが、大切な要素であること」
などがありました。

新幹線や首都高の開通で、戦後日本のめざましい復興・発展を世界にアピールし、その後の高度経済成長により、世界第二位の経済大国にまで上り詰めました。さて、今回のオリンピックは、新型コロナウィルスのパンデミックで、一年延期となり、無観客による開催は史上初のこととなりました。開催に対して賛否両論ありましたが、コロナ禍でも立派に開催できたこと、女子スケートボード金メダリストの西矢桃選手(十三歳)を始め、十代、二十代の選手や障害者の選手が大活躍したことが、次の世代に大きな感動と自信をもたらしたのではないのでしょうか。コロナ禍で大きな犠牲を払いましたが、それを上回る大きな教訓と希望を得られたのではないかと思います。

ちなみに、私たちの業界では、デング熱ほか、蚊が媒介する感染症の発生を懸念し、新宿御苑の協力を得て、蚊の駆除作業の演習を行いました。日本や世界の健全な社会の発展を願ってやみません。

むし籠

蚊が媒介する感染症のサーベイランス

テレワークをやってみて

昨年、新型コロナウイルスの発生により、少しずつ準備を進めてきたわが社の事務員の交代制テレワークが始まりました。

実際にやってみて良かったと感じたのは、

「社外に仕事を持ち出すルールを見直すきっかけになったこと」
「複雑な手続きを減らして簡素化出来るようになったこと」
「複数の人が関わる種類の承認など、時間を有することもシステム化され以前より早くなったこと」
「労働形態(日中の現場、夜間作業の現場、内勤などの勤務場所や勤務時間)が違う人とのつながりが、よくなりました」

一方、困ったことは、

「普段からの運動不足に重なる運動不足(通勤が運動不足を補っているとは気がつきませんでした)」
そして、気がつけば太ってしまいました。

虫めがね

東京オリンピック

二〇二〇東京オリンピック・パラリンピックが終わり、昭和十五年(一九四〇年)年に、第十二回オリンピックの開催地が東京に決定されましたが、日本と中国との軍事的な衝突が問題視され辞退となりました。そして太平洋戦争で日本が焦土と化してから、わずか十九年後の昭和三十九年(一九六四年)、東京で第十八回夏季オリンピックが開催されました。

初めてのカラーテレビ放送、ブルーインパルスの飛行機雲、入場式のオリンピックマーチ、女子バレーの活躍が目につきました。

新幹線や首都高の開通で、戦後日本のめざましい復興・発展を世界にアピールし、その後の高度経済成長により、世界第二位の経済大国にまで上り詰めました。さて、今回のオリンピックは、新型コロナウィルスのパンデミックで、一年延期となり、無観客による開催は史上初のこととなりました。開催に対して賛否両論ありましたが、コロナ禍でも立派に開催できたこと、女子スケートボード金メダリストの西矢桃選手(十三歳)を始め、十代、二十代の選手や障害者の選手が大活躍したことが、次の世代に大きな感動と自信をもたらしたのではないのでしょうか。コロナ禍で大きな犠牲を払いましたが、それを上回る大きな教訓と希望を得られたのではないかと思います。